

2011.4.11 特別シンポ感想文

【概要】

感想文を寄せていただいた人数 20人

男性・・・16人 女性・・・3人 性別不詳・・・1人

年代 10代・・・2人 20代・・・5人 30代・・・2人 40代・・・2人 50代・・・1人 60代・・・3人

70代・・・3人 80代・・・1人 不明・・・1人

今年5月に早稲田大学へ入学する学生です。今回の企画を機に原発の危険性、そして今後の対策について教えてくれたことにとても感謝しております。

特に感心したことは、代わりとなる新エネルギーについて具体的な対策を表してくれたことです。私が初めてこの企画の誘いを受けたときは「原発を撤廃するのなら他のエネルギーを示せ。そうでなければ感情論に過ぎない」と軽視していましたが、今日の企画によって原発に反対することに対する自信ができました。

他の友達や周りの人にも今回の知識を広めていきたいです。ありがとうございました。
(男性・10代)

私も「原発で水素爆発」と聞いたときに、なにがどう危険なのか全く分からなかったし、「すぐに影響が出るほどではない」とか聞かされても全く判断の材料にならないし、とにかく情報が少ないなと思っていたら、今日の話で聞いたような秘密主義があるんだなとか、汚染がひどいということを聞いてよかった。

(男性・10代)

大変深い学習ができました。私も10回ぐらい最近原発学習会（の講師）をしています、大変参考にさせていただきたいと思います。

(男性・20代)

「まさか日本でおきるとは」とは思っていて、なかなか自分の実感になりませんでしたが、3人の話を聞いて、現状を東電、日本政府の姿勢には怒りを感じました。

人々の日常を奪っていく原発安全神話の危険性がよく分かりました。日本だからこそ、自然エネルギーへの転換が強く求められているし、その技術開発を進めていくべきだと思いました。

(女性・20代)

人いっぱいびっくりしました。あつかったな。
地震がおこったあとの状況、原発の背景など、なんとなく分かりました。
被災地の人たちのことも聞いてよかったです。不安なことがあるから（そうじゃなくても）思いを伝える場が求められているように感じました。普段、むずかしい話なんてしないで、あほっ

ぼく笑っていたいと思ってしまうからです。

数年前から、地震と事故以前に分かっていたこと、起こっていたこと、訴えていた人がいたことを全く知らなかったというのはなんでだろうと思いました。似たような事故とかが起こっていたとか初めて聞きました。

訴えていたのに聞かなかった政府もだけれど、知っていた人がたくさんいたはずなのに、なぜ動かなかった。また動かせなかったのか。動かせなかったのならそれなりに知らせること、対処を伝えることはできなかったのか。

それと同時に、知ろうとしなかった自分、社会の雰囲気も危機を感じます。
(女性・20代)

今回の事故に対して、前政府・現政府等の事故以前の考え方や対策、以後の対応に問題があったのはよく分かった。批判することは今後のためにも大変結構なことである。

しかし、批判するだけではなく、自分たちも何かまずかったこと足りなかったことがあるのではないかと省みて反省することも忘れないでほしい。

今回の原発事故は人災であり、事前に問題を指摘していたという。それを政府が楽観的に、起こりえないと捉えたのは、確かに問題である。しかし、追及する側も自分たちはしっかり追及した、政府が取り合わないのが悪い、だけで終わってほしくはない。政府が真剣に取り合わず、しかし自分たちはその心配があるというのであれば、政府を説得するとともに、政府に代わって何か独自に対策を進めておくのも可能だったのではないか。

自分たちはちゃんと追及したから、だけで実際にはなんの対策もせず終わっていたのであれば政府となんら変わらないのではないか。政府が想定外と言い、自分たちにとって想定内だったのにと、批判するのであれば、独自に政府のために対策マニュアルをまとめておくなどしてほしかった。それを実際に事故が起きたときに政府に提供したら、被害をおさえたりできたのではないか？

楽観的に考えて想定しなかった人と想定していたのに対策をしなかった人どちらもどちらではないか？

(男性・20代)

何の運命か知りませんが、地震がおこる前に「原発について勉強しよう」と思って吉井さんの本を読んでいました。震災後、今回の事故をどう見ていくか吉井さんの本を読んでいたこともあり、原発行政そのものの姿が大変鮮明に見えました。今日の吉井さんの話は、前もって知識がないと難しいのではないかと思います。今の事態と合わせて原発行政の仕組みが学べて、非常に勉強になりました。

原発と核兵器のつながりがもう少し聞きたかった。
(男性・20代)

マスメディアに正しい情報がなかなか出てこない今、こういう機会は重要です。勉強になりました。科学的な正しい知識を武器に、反核、反原発の運動に取り組んでいきたいです。

動画 up 待ってます。
(男性・30代)

参加して本当に良かったです。今まさに直面している問題を様々な視点で話してくださり、科学的、実体験、政治的な側面と大変興味深かったです。

国民的な運動で原発から脱却できるようにしていきたいです。未来の子どもたちのためにやっていきたい。

(男性・30代)

こういうシンポを機敏に開いてくださりありがとうございました。事前の質問受付はじめ、運営の配慮も行き届いていてすばらしいと思いました。

事態は深刻です。新たな進展に応じて2回目、3回目をお願いします。

(男性・40代)

野口先生のお話恐怖がますます募りました。まず、政府・東電にデータを全て公開するように強く迫りたい。その上で、全国の原子力研究者の英知を結集して、事態の収拾に早期に努めてほしい。

WEBで見たドイツ政府の公式ページの放射能飛散予測マップを出してほしい。

(女性・40代)

○私は40年も前から原発の危険性については知らされていた。こんな初歩的な問題・課題が解決されていないということの方が驚きだ。原子力発電の専門家研究者という方はいったい何を3研究しているのだろうか。

またこのような危険極まりないものが日本各地に作られていることに恐怖を覚える。一刻でも早く原発を停止しなければ人類に未来はない。

○この間のマスコミの報道の「ヒドサ」には目をおおうものがある。大スポンサーである東伝を始めとする電力会社に文句を言えない民放は、御用学者のオンパレード。そのような縛りのないNHKですら、同様な状態である。少なくとも賛成派と反対派の学者で討論をする位の構成があってもいいのではないか。

○この原発問題では、「産学協同」が御用学者を生み出す温床となっており、独立行政法人への移行が後押しをしている。企業の学問買占めについては規制をかける必要がある。

○政府行政は一体何なのだろうか。民主党の言う政治主導とは一体何なのだろうか？

(男性・50代)

震災発生から一カ月のこの月、まさにタイムリーな企画。「安全神話」で国民をだまし続け、おのが利益のみを追いかけた東電(ex. 原価償却30年を過ぎた原発は、タダで金を産む)が極悪人であるのはもとより、それに丸投げし、なんら規制をかけられない無能菅内閣。

福島原発で事態は益々悪化するにも拘らず、能天気な解説(「何も心配ない」「直ちに健康に影響はない」)を垂れ流す原発村の御用学者ども!信頼するに足る、野口邦和氏、舘野淳氏、安齋育郎氏、増田義信氏らの見解を早く聞きたかった。最近になってやっと野口氏はテレビに登場にできるようになりましたが(遅きに失した!)

国民の不安に応える今回のような企画を大変とは思いますが、今後も継続してやって頂ければありがたいです。よろしく!

(男性・60代)

今、生まれ故郷の浜岡原発を止める署名を全国の友人にすすめています。がんばりましょう。
(男性・60代)

「がんばろう日本がんばろう東電」のようなスローガンは戦後の一億総ざんげのようなもので責任の所在をあいまいにしています。支援募金はもちろんしますが、復興増税や電力料金値上げでツケを国民からしぼり取る方法には納得できません。原発利益共同体が責任を認め、少なからぬ復興支援金を拠出すべきです。東電や日立・東芝・ゼネコンからの政治献金は自民党も民主党も倫理的には返金すべきです。

(男性・64歳)

今日は大変勉強になりました。マスコミでは疑問となったようなことを、私なりにわかってきたような気分です。ところで、今回事故となった原発近くの十数の町村は、ほぼ永久的にそこにすむことはできなくなるのではないのでしょうか？今のところ、いろいろなところに避難しているようですが、私は将来に向けて町をあげて（村をあげて）新たな永住地に移住せざるを得ないのではないのでしょうか。そういう定住地が見つからないとなると、あのジプシーのようになるのかなあ・・・？こんな悲観的なことを思い起こしてしまう気分です。そうならないように国民が一致団結して平和な安心して誰もが生きられる日本を作っていくかねばならないですね。力はありませんが、私なりにがんばります。（私は福島県の会津坂下町出身です。郷里の会津坂下町には葛尾村がまとまって避難しています）

(男性・70代)

○地方選で原発問題の応援弁士として“にわか勉強”をして（もっぱら赤旗と各種テレビ情報を参考に）10～15分のスピーチで訴えてきました。

後半戦のために今回、参加して大変勉強になりました。簡単な学習会をもって、今日の中身を地方議員の人たちに伝えたいと思います。

○とくに吉井さんの“原発利益共同体”の話はなぜ、こんな不手際がおきたのか、なぜ、テレビも不正確、不十分な情報しか流さないのか、それをとくカギだと思います。とにかく、原発をめぐる政治、歴史、そのカラクリをしっかりと国民に伝えなければと思います。

無知は犯罪です→知は力なりです

今度の知事選、どの現職もこれから“しっかりやる”と言って当選しました。私たちの力で必ずやらせましょう。

○代替エネルギーのことも（小生は戦後、強調された水力発電重視をもっと語るべきだと思えます。日本は70%が山と河川）もっと緻密に移行期の問題も含めて研究し、語っていかねばならないと考えます。

(男性・70代)

○いま、どこに行っても「不安」が話題になります。先日も、年金者組合の月1回の例会（約

40人)で、普段おとなしい朋友が激しい口論になりました。めずらしくいら立っていました。

○A君の主張は、「安全神話にだまされた。この責任を徹底追及する。自公政治と東電、金儲けの大企業(産業)を許すな!!」ということ。一方のB君は、「そんなぐちを言ってもダメ。はてしない放射能被害の拡大がはじまってしまっているのだから、誰の責任彼の責任と言う段階ではなく、どうすれば被害から逃れられるのか、いま何をしたらいいのかを話し合うことが大切だろう」A君「そんなこと言ってるからダメなんだ」「ナニィ?何を言うんだ。もういっぺん言ってみろ!」と。

○2人に共通しているのは不可知的な「不安」「恐怖」でしょうか。

○いま、一人ひとりがしっかりとした「心」をもつということは「科学すること」だと思いません。そのために有識者の話を聞き、問題点をしっかりとつかみ、考え、行動する仲間とお互い激励しあうこと。そうした視点で今日は貴重なお話でした。

3人のスピーカーの方々に感謝をいたします。なお、吉井さんの「原子核工学」という学問分野をもう少し知りたい(人に説明するため)と思っています。何かの機会にお話ください。2011年原水爆禁止世界大会の成功をがんばりましょう。

(男性・70代)

原発を軽視しないで現地だけの問題にしないで、全国的な(判読不能)をしなければと思う。故郷を核の廃墟にはさせたくない。第二の原発事故を起こす前に全国的な17箇所55基の原発の調査必要性。

南相馬市山崎区は原発から15~16キロ内であり、(判読不能)町が生んだ憲法学者鈴木安蔵の田舎を残さなければならないと思っている。

(男性・81歳)

5

タイムリーな企画をありがとうございました。情報が不明な中で、貴重なお話が聞けた事を、広く伝えていきたいと思えます。

まず今、原発を計画している所をまず止めさせること、世論を大きくしていかななくてはと痛切に思えます。

(氏名など全て不詳)